

長浜での浸水被害の事例

平成20年(2008年)9月11日

滋賀県流域治水政策室

2008.7.18長浜市における短時間強雨による水害【概要編】

気象状況

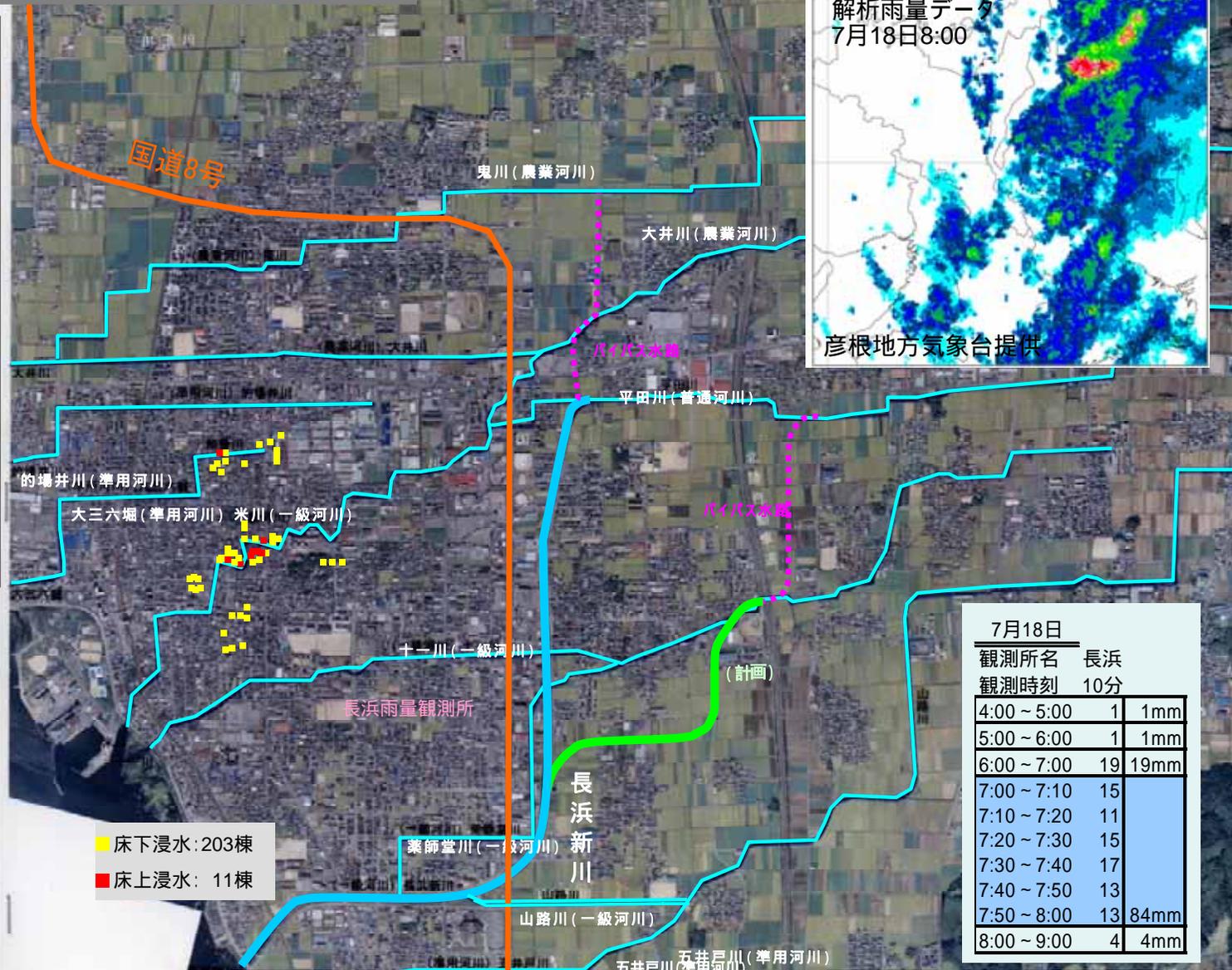
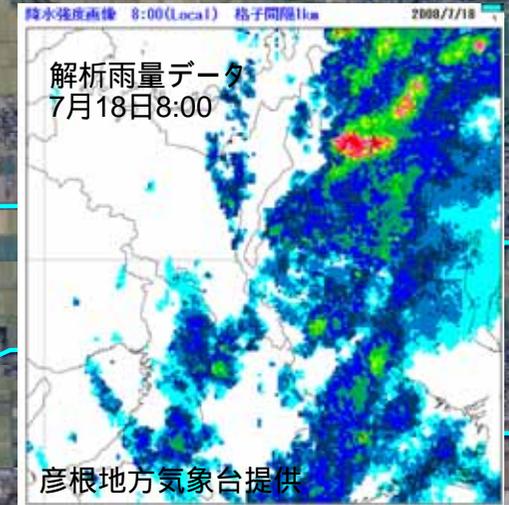
7月17日夜から18日朝にかけて、日本海の停滞前線に向かって、南海上から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が非常に不安定となった。

レーダー観測によると、発達した積乱雲が大坂府付近から北東進し、滋賀県を通過するかに予想されたが、6時30分過ぎから前線の影響により停滞する傾向が見られ、7時20分には長浜市内を中心にほとんど停滞し、この状態は8時過ぎまで続き、その後積乱雲は南下した。

雨量状況と雨量分布

長浜雨量観測所(長浜市平方町)では、午前7時から8時の1時間で84ミリ、24時間雨量109ミリ、常喜雨量観測所(長浜市常喜町)では、1時間で59ミリ、24時間雨量76ミリ、上野雨量観測所(米原市上野)では、1時間で45ミリ、24時間雨量83ミリを観測した。

また、彦根地方気象台の米原地域気象観測所(米原市朝日)では61.5ミリ、虎姫地域気象観測所(虎姫町唐国)では、1976年(昭和51年)からの観測史上で最大値となる50.5ミリの日最大1時間降水量を観測した。彦根地方気象台の解析雨量データ(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせる解析した雨量)によると、長浜市付近で約80ミリの値が観測された。



7月18日		
観測所名	長浜	
観測時刻	10分	
4:00 ~ 5:00	1	1mm
5:00 ~ 6:00	1	1mm
6:00 ~ 7:00	19	19mm
7:00 ~ 7:10	15	
7:10 ~ 7:20	11	
7:20 ~ 7:30	15	
7:30 ~ 7:40	17	
7:40 ~ 7:50	13	
7:50 ~ 8:00	13	84mm
8:00 ~ 9:00	4	4mm



2008.7.18長浜市における短時間強雨による水害 【聞き取り編】

対処できたこと

近所にいる子供2人と民生委員の方が手伝ってくれて畳を干した。留守にしていたが、鍵を渡していた隣人が家財を上げてくれた。電話して社協の人に来てもらい、掃除してもらった。近所の人や自治会長、民生委員の方が手伝ってくれて畳を干した。シルバーさんに頼んで、掃除してもらった。商品を台にあげた。

対処できなかったこと

近所の人から川があふれていると聞いて初めて気が付いた。高齢で1人暮らしなので何も対処できなかった。畳を上げようと思ったが居間の方を優先したため少ししか出来なかった。高齢者の夫婦だけで体も弱く、十分な対応が出来なかった。

意見など

昔は宅盤が高い家の男の人が助けに来てくれることになっていたが、今はそうっていない。以前県や市が川の浚渫をしてくれたが今回でまた川底が上がったと感じる。普通河川の川底を下げてほしい。宅地が低いから浸水するのはわかっているが、改築出来ない。以前近くに土のうが備えつけられていたが景観の面もあり撤去されていた。

いつ頃から雨が強くなり、いつ頃から弱くなりましたか？

朝、急に降ってきた。(時間まではわからない)

いつ頃から水位が上がリ、いつ頃から下がりましたか？

気が付いたら水が入ってきた。7時から8時の通学時近所からの連絡により知った。国道沿いなので、車が通るたびに水が入ってきた。すぐに水は引いた。なかなか水が引かなかった。急に浸水し、急に引いた。

住民の心理状態は？

怖かった。一時はどうなるかと思った。こんな雨が降ったら、仕方ない。何でこんなに浸水したのか。

住民は何か洪水対策をしていましたか？

対策はしてない。対策をする暇(時間)がなかった。

隣近所で協力して土のうなど水防活動をしていましたか？

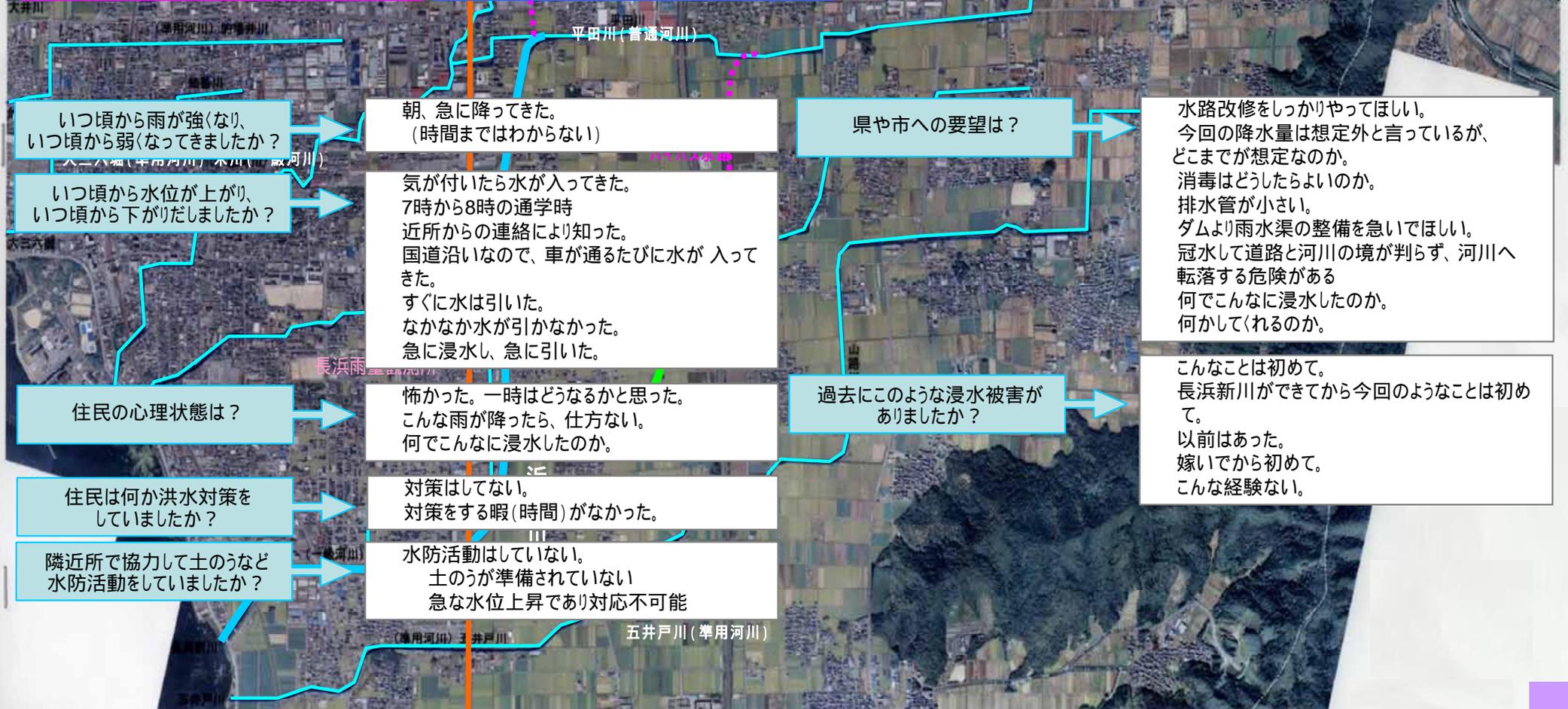
水防活動はしていない。土のうが準備されていない。急な水位上昇であり対応不可能

県や市への要望は？

水路改修をしっかりとってほしい。今回の降水量は想定外と言っているが、どこまでが想定なのか。消毒はどうしたらよいのか。排水管が小さい。ダムより雨水渠の整備を急いでほしい。冠水して道路と河川の境が判らず、河川へ転落する危険がある。何でこんなに浸水したのか。何かしてくれるのか。

過去にこのような浸水被害がありましたか？

こんなことは初めて。長浜新川ができてから今回のようなことは初めて。以前はあった。嫁いでから初めて。こんな経験ない。



今回の水害を教訓にして検討した類似の水害に備えた対応の一覧

(1) 被害の最小化に向けての平常時・発生時の対応

自助 個人としての対応

住まい方の工夫

- ・家屋の新築、改築時に床上浸水が起こりにくい構造への工夫
- 住宅保険への加入促進
- ・早期の復旧ができるよう万が一の場合に備えた住宅保険等への加入

共助 地域としての対応

地域コミュニティの形成

- ()自主防災組織の対応力強化
 - ・隣近所の助け合い、地域住民の協力連携等地域防災力の強化
 - ・地域コミュニティを基本とした自主防災組織の活性化、強化
 - ・災害発生時の対応訓練等の充実
- ()高齢者、障害のある人などへの配慮
 - ・地域コミュニティを活かした助け合い、積極的な声かけ

災害時要援護者への支援

- ・避難支援プランの策定の加速化
- ・自主防災組織や民生委員などの連携による支援協力関係の構築

公助 行政としての対応

河川改修等の計画的実施

- (1)中小河川や雨水排水施設等の改修
 - ・河川部局と下水道部局など関係機関の連携
- ()確実な維持管理
 - ・浚渫や護岸の補修など適切な維持修繕

流域で「ためる」対策の推進

- ()各戸貯留や浸透枘の設置促進
 - ・各家庭での雨水、浸透施設の設置推進
 - ・条例等による義務付けや助成等の検討

()透水性舗装等の整備

- ・県道、市町道の新設、改良時に透水性舗装の採用を検討
- ・浸透構造の道路側溝の検討

()グラウンドや公園での貯留機能の向上

- ・雨水貯留機能を持たせた整備の推進

()調整池や遊水地の検討

- ・洪水時に一定量を貯留する調整池や遊水地の設置を検討
- 関係機関との連携

- ・定期的な担当者会議等の開催

- ・被災状況把握のための情報連絡員等の派遣

住民への積極的な情報提供

- ・中小河川や内水はん濫を考慮した浸水マップの公表
- 被災記録の保存と啓発
- ・県内各地で活用できるよう調査結果の公表

(2) 復旧時における対応

防除(消毒)

- ・被災地への積極的な応援等の関与ができるよう平常時から情報連絡
- ゴミ処理
- ・地域防災計画に基づき引き続き、県と市町との連携

対応にあたっては、各地域の実態に即した対策を組み合わせて実施するものとする。

(3) 長浜市街地における今後の対応

今回被害が発生した長浜市街地における対応策については、洪水量の減少と湛水時間の削減等を図ることが期待できる長浜新川の整備促進や、関連事業である「鬼川・大井川バイパス整備事業」の早期着手に向けた調整など、引き続き、関係機関において検討し、水害に強い地域づくりを目指していくこととする。